

県営屋内50メートルプールの
早期建設を求める要望書

令和2年3月10日

埼玉県議会水泳振興議員連盟

県営屋内50メートルプールの早期建設を求める要望書

埼玉県議会水泳振興議員連盟は、水泳の普及及び水泳競技の振興を図り、世界で活躍できる選手を育成するとともに、世界に通用する環境づくりを支援することを目的として、平成22年3月に設立した。

これまで議員連盟は、関係団体と緊密な連携強化をはかり、選手や県民の要請に応じ、水泳の普及と振興を推進するとともに、県営屋内50メートルプールの早期建設を求めてきた。

本県は、東京2020オリンピック・パラリンピックで金メダルが期待される、毛呂山町出身の瀬戸大也選手をはじめ、多くの競泳日本代表選手を輩出してきた水泳王国である。

また、水泳は子供から高齢者まで手軽に楽しめ、障害を持つ人にもリハビリテーションに活用できるという利点を持つスポーツである。

しかしながら、本県には東日本で唯一、公営屋内50mプールがない状況が続いている。水泳競技の競技力の一層の向上や、人生100年時代を迎えた県民の健康維持を図っていくためには、県営屋

内50mプールの整備は大きな意義があるものとする。

そのような中、当議連は、本県水泳の普及・振興を担う一般社団法人埼玉県水泳連盟から県営屋内50mプールの施設設備と早期建設について要望を受けた。埼玉県水泳連盟からは、選手たちが置かれている厳しい現状や望ましい施設設備の内容、そして何より早期建設を望む熱い思いを伺うことができた。

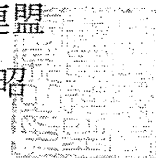
オリンピック・パラリンピック開催によるスポーツへの県民の関心の高まりや、オリンピック・パラリンピックのレガシーという観点に鑑みても今が県営屋内50メートルプール整備の好機である。

については、世界で活躍できる選手を育成するとともに、県民が身近で水泳を楽しみながら健康の維持増進を図るため、埼玉県水泳連盟の提案を踏まえた県営屋内50メートルプールを早急に建設するよう求めるものである。

令和 2年 3月 10日

埼玉県知事 大野 元裕 様

埼玉県議会水泳振興議員連盟
会 長 小 島 信 昭



埼玉県知事

大野 元裕 様

要 望 書

鴻巣市 上尾市 桶川市 北本市 伊奈町

さいたま水上公園内への屋内50メートルプール及び スポーツ科学拠点施設の誘致について

県央地域のスポーツ振興につきましては、日ごろ格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本圏域は、江戸時代、中山道の宿場町として栄えた歴史を持ち、自然と都市が融合した活力あふれる地域です。

また、本圏域は東京都心から35～50キロメートル圏内にあり、埼玉県ほぼ中央部に位置しています。国道17号が縦貫し、首都高速埼玉大宮線が延伸される上尾道路があり、首都圏中央連絡自動車道にも繋がっていることから、鉄道利用も含め、県内外から多くの人が集まる上で、非常にアクセスのよい場所となっております。

加えて、上尾運動公園や埼玉県立武道館、埼玉アイスアリーナなどが整備され、全国及び県内規模の各種スポーツ大会やイベントが季節を問わず開催され、多くの県民やアスリートで賑わい、愛される地域となっております。

特に、上尾運動公園は、昭和42年の埼玉国体の際にメイン会場として開会式が開催された、埼玉県民にとって思い出深いスポーツの聖地でもあります。

このような地域に、現在、埼玉県において検討が進められている「屋内50メートルプール」が整備されますと、多種多様なスポーツ施設の一大集積地となるとともに、全国に誇る本県の総合スポーツ拠点が誕生することとなります。

また、現在のコロナ禍に立ち向かっていくには、「新しい生活様式」を実践しながら、県民の心身の健康推進に向けたスポーツの更なる振興、新たなスポーツ拠点の整備が必要です。

ぜひ、当圏域のさいたま水上公園内に、「水泳王国 埼玉」の名にふさわしい「屋内50メートルプール」を整備されますことを県央地域53万県民とともに強く要望いたします。

更に、県内アスリートに対してスポーツ科学による支援を受けられる機会を提供できるよう、スポーツ科学拠点施設を併せて整備されることを要望します。

令和 2 年 8 月 27 日

鴻巣市長 原口和久

上尾市長 島山稔

桶川市長 小野克典

北本市長 三宮幸雄

伊奈町長 大島清

さいたま水上公園内への屋内50メートルプール及び
スポーツ科学拠点施設の誘致に賛同する署名

令和2年 8月 27日

足立北部正副議長会

会長

北本市議会議長

滝瀬光一

北本市議会副議長

保角美代

副会長

鴻巣市議会議長

金子雄一

鴻巣市議会副議長

橋本稔

上尾市議会議長

大室尚

上尾市議会副議長

長沢純

桶川市議会議長

糸井政樹

桶川市議会副議長

仲又清美

伊奈町議会議長

村山正弘

伊奈町議会副議長

永末厚二

要望書

埼玉県知事

大野元裕様

国内主要大会が開催できる屋内プール等の 県南地域への設置に関する要望書

埼玉県は、水泳競技において、オリンピックをはじめ多くの大会で優秀な成績をおさめた選手を多数輩出してきた「水泳王国」であります。過去のオリンピック競技大会でも、本県ゆかりの選手が多数出場しメダルを獲得し、来年に開催される東京オリンピックにおいても本県出身の選手の活躍が大いに期待されるところであります。

これらの活躍は、長い時間をかけ若手の育成など競技指導に携わってこられた方たちのご尽力の賜物であるとともに、将来一流のアスリートを目指す子どもたちにとって夢と希望を与えております。

しかしながら、本県には、国際大会や国内の主要大会が開催可能な設備・規模を有する公営の屋内50mプールが整備されておらず、天候に左右されず競技に集中できる屋内50mプールの整備は悲願であると同時に、若手選手の育成のためにも必要であります。

現在、埼玉県において屋内プール等の整備について検討がなされておりますが、建設候補地の一つである県南地域にある川口市の神根運動場は、電車ではJR武蔵野線東浦和駅から徒歩圏内にあり、自動車でも首都高速道路や東京外環自動車道のインターから近距離にあり、交通利便性が非常に高く、周辺交通渋滞も少なく非常に便利な立地条件であります。

また、川口市は、昭和42年と平成16年に、本県で開催された国民体育大会でも、水泳競技の会場となるだけでなく、歴代市長も埼玉県水泳連盟会長を務めるなど、水泳に対する熱意が非常に高い地域であります。

更には、現在県南地域における、スポーツ施設は戸田市の漕艇場のみと非常に少ない状態であります。

以上の事情を踏まえ、水泳王国の本県において、国内の主要大会が開催できる設備・規模を有する屋内50mプール施設を県南地域にある川口市の神根運動場への整備をお願いいたしたく、要望いたします。

令和2年10月7日

草加市長

浅井昌志



蕨市長

頼高英雄



戸田市長

菅原文仁



川口市長

奥ノ木信夫

